


校長室だより No. 6
(平成 27 年 6 月 30 日)

 泉大津市立上條小学校
校長 松田 義広

<http://izumiotsu-ed.jp/e-kamijo/hp/>

ホームページ 10000 アクセス達成！ 一度、訪れてください。

水泳学習が始まり、プールから子ども達の歓声が聞こえます。

さて、今年の夏より、各教室に冷房が入るようになりました。その日の気温に合わせて使用しますが、体を冷やし過ぎないように教室温度を 28 度に設定しております。エアコンについては、厳しい財政の中、市が『子ども達に快適な学習環境を』との保護者の願いも受け止め、優先して設置してくれたものです。これで、「今まで以上に勉強を頑張ってくれるはずだ！」と大人はすぐに期待してしまうのですが…？

オリエンテーリング (6月16日 3・4時間目)

児童会たてわり活動として、オリエンテーリングが行なわれました。子ども達は、1～6年生までの 24 班に分かれ、『わりばしダーツ』、『片足バランス』、『豆つかみ』、『ボウリング』、『ストラックアウト』、『魚つり』などのゲーム会場を次々とまわり、班ごとの点数を競います。ゲームを楽しんでいる子ども達の様子を見られたことも、うれしいことですが、低学年の子ども達が、高学年のお兄ちゃん・お姉ちゃんにまわりつづくように歩いている様子は、何とも微笑ましい光景でした。思わず先頭を歩いて来る班長に「ごくろうさん」と、声をかけてしまいました。

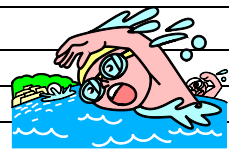


たてわり班長が、高学年児童にとって、児童会役員や学級委員同様にやりがいのあるポジションであり、低学年児童にとっても憧れのポジションであってほしいと願います。「児童会役員や学級委員もやってみたいけど、『たてわり班長』もやってみたい。」と言えるような学校は格好良く、素敵だと思います。今年の上條小学校高学年には、それだけの強さとやさしさが備わっていると感じるので…

7月の行事予定

★マークは、放課後に学校に遊びに来られない日です。

1	水	教科部会 ★ 図書夏休み特別貸出期間[～15日]	16	木	大掃除、一斉下校 (12:00) ★
2	木	A L T (1年)	17	金	終業式 (10:30 下校)
3	金	個人懇談① 初経指導 (5年)	20	月	林間学校 (5年) 三中ネット「夏の星空観望会」
6	月	個人懇談② 諸費振替日 すこやか教室			
7	火	個人懇談③	21	火	林間学校 (5年)
8	水	クラブ③ こども園夏祭り (支援学級) ※	22	水	林間学校 (5年)
9	木	A L T (6年)	23	木	プール登校 (2・6年)
10	金	P T A 実行委員会	24	金	プール登校 (3・4年)
12	日	OZU ネット「サマーカーニバル」	27	月	プール登校 (5・1年)
15	水	なかよしプール (支援) 給食最終日	※今後、『こども園』とは『かみじょう認定こども園』のことです。		



8月の主な行事予定

6日(木)、7日(金) 夏季宿泊交流会 (支援)
31日(月) 始業式 (10:30 下校)

個人懇談

7月3日、6日、7日と個人懇談を行ないます。保護者の皆様にご来校いただき、お子様の学校での様子等をお話いたします。短時間ですので、もし質問事項がございましたら、事前に担任までお知らせくださるとありがたいです。

「うちの子の理科の成績はどうしたら上がるのでしょうか？」などのシンプルでストレートな質問が、思いのほか難題となります。できるだけお子様に合った勉強法や解決法をお示しできればと思います。また、内容によっては、時間をいただかなければならない場合もあります。

いずれにせよ、丁寧なお答えができるように努めます。



きめ細やかな学習指導を Part.2

前回号で、専科教員での取り組みをお伝えいたしました。本校では、以前より、授業改善には、教員が、互いに授業公開を伴う研修(上條小学校ホームページにも一部掲載)を積極的に行なうことが重要だと考え、継続して取り組んでいます。時には、外部講師を招き、指導助言をいただきながら、上條小学校の子ども達に適した指導方法を研究しています。

7・8月は校外での研修会等も多く開催されます。他市町村の先進的な取り組み等も学びながら、今後も、より魅力ある・わかりやすい授業になるよう努めます。

徴収金

学校諸費の円滑な徴収にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

1学期末は例年に比べ早く、17日(金)となっています。振替日までに、ゆうちょ銀行に行っていたり、決算日までにご準備をお願いしたりしておりますが、子ども達の日々の活動や給食を支えるためにも、ご協力ください。

【上條今昔話】 「上條」の名称について

今回は、本校の名称である「上條」について、考えてみたいと思います。上条という地名は中世からみられるようになります。「条」は本来「木の枝」を意味し、のちに道や筋道を意味するようになります。つまり「上」の条というのは、道筋より上の部分をさしています。

元禄13年頃刊行されたとされます『泉州志』には、上条郷として、千原村、森村、二田村、助松村、両曾根村、池上村、伯太村、府中村があげられています。また、上条郷に対して下条郷として穴田村、豊中村、辻村、宮村、池浦村、虫取村、長井村、下条大津村が記されており、泉大津市のほぼ中央で上・下「条」に分かれていることがわかります。このように、旧郷や旧郡を上・中・下「条」とした地名は全国にみられます。

上条の名は、明治22年(1889)の町村制施行により、上条村という自治体に採用されました。なお、本校の名称は、明治26年(1893)に助松簡易小学校から上條尋常小学校に変更されました。

ところで、本校の名称は「上条」ではなく、「上條」と旧字体表記ですが、その理由は定かではありません。もしかすると、歴史が古いため、旧字体の校名がそのまま残されてきたのかもしれません。

(泉大津市教育委員会生涯学習課に資料提供して頂き掲載しています。)